

第2期大阪府まち・ひと・しごと創生総合戦略における 令和6年度の主な取組と指標

「第2期大阪府まち・ひと・しごと創生総合戦略」の令和6年度の主な取組として効果検証していく事業は、総合戦略の基本目標、基本的方向毎に、以下の事業を中心に選定しています。

- ・ 府政運営の基本方針で位置付ける知事重点事業 等
- ・ 国のデジタル田園都市国家構想交付金等を活用する事業

目次

I 若者が活躍でき、子育て安心の都市「大阪」の実現

基本目標①若い世代の就職・結婚・出産・子育ての希望を実現する

No1 OSAKAごととフィールド運営事業	3
No2 OSAKA女性活躍推進事業	3
No3 男女共同参画推進事業～女性基金活用事業～	3
No4 地域限定保育士試験事業	4
No5 預かり保育助成事業	4

基本目標②次代の「大阪」を担う人をつくる

No6 英語教育推進事業（小・中・高）	5
No7 グローバル人材育成事業	5
No8 木とふれあう木育推進事業	6
No9 いじめ虐待等対応支援体制構築事業	6
No10 児童虐待対策の拡充・強化	6
No11 子どもの貧困対策～子ども輝く未来基金事業～	7

II 人口減少・超高齢化社会でも持続可能な地域づくり

基本目標③誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり

No12 おおさか健活10推進プロジェクト事業	9
No13 健康づくり支援プラットフォーム整備等事業	9
No14 がん対策基金事業	10
No15 ギャンブル等依存症対策基金事業	10
No16 次世代スマートヘルススタートアップ創出事業	10
No17 大阪ええまちプロジェクト	11
No18 生活支援体制整備推進支援事業	11
No19 スマートシニアライフ事業	12
No20 外国人留学生就職支援事業	13
No21 就職氷河期世代集中支援プロジェクト事業	13
No22 潜在求職者活躍支援プロジェクト事業	14
No23 持続可能な大阪の成長を支えるダイバーシティ推進事業	14
No24 障がい者雇用の促進	15
No25 地域福祉振興助成金事業	15

基本目標④安全・安心な地域をつくる

No26 密集住宅市街地整備促進事業	16
No27 ファシリティマネジメントの推進	16

No28 使い捨てプラスチックごみ対策推進事業	16
No29 「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」推進事業	17
No30 温室効果ガス排出量の削減	17
No31 カーボンニュートラル技術開発・実証事業	18
No32 万博を契機とした環境・エネルギー先進技術普及事業	18

III 東西二極の一極としての社会経済構造の構築

基本目標⑤都市としての経済機能を強化する

No33 世界に伍するスタートアップ・エコシステム推進事業	20
No34 次世代スマートヘルススタートアップ創出事業(No16再掲)	20
No35 空飛ぶクルマ都市型ビジネス創造都市推進事業	21
No36 国際金融都市推進事業	21
No37 大阪公立大学「イノベーション・アカデミー構想」推進事業	21
No38 外国人材受入促進・共生推進	22
No39 外国人材マッチングプラットフォーム事業	22
No40 外国人留学生等マッチング支援事業	22
No41 労働相談センターパワーアップ事業	23
No42 中核人材雇用戦略デスク事業・同体制拡充事業	23
No43 企業立地に向けた取組	24
No44 大阪・関西万博に向けた大阪産(もん)の活用拡大支援事業	24
No45 公民戦略連携デスクの設置・運営	25
No46 新名神高速道路の整備促進	25

基本目標⑥定住魅力・都市魅力を強化する

No47 スマートシティ戦略推進事業	26
No48 大阪ショーケース機能強化及びSDGsの実現に向けた観光推進 ・地域活性化事業	27
No49 魅力づくり推進関係事業	27
No50 大阪魅力発信事業	28
No51 スーパーシティ構想の推進	28
No52 広域サイクルルート連携事業	29
No53 公園都市緑化振興事業	29
No54 大阪府生涯スポーツ振興事業	29
No55 大阪府文化振興事業	30
No56 万博記念公園駅前周辺地区活性化事業	30

I 若者が活躍でき、子育て安心の都市「大阪」の実現

基本目標①若い世代の就職・結婚・出産・子育ての希望を実現する

基本的方向（１）若者の安定就職支援、職場定着支援

No 1	OSAKAしごとフィールド運営事業					
	女性や若者をはじめ多様な人材が活躍できる環境づくりを進めるため、OSAKA しごとフィールドにおいて、就職困難者に対する専門的な支援を重点的に実施するとともに、人材確保に課題を抱える中小企業を支援する。					
	活動指標・予算額	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
R5年度実績見込 (当初目標値)					R5年度予算額	
		OSAKAしごとフィールドによる新規就業者数 (若者以外も含む)	8,000人/年	439,228千円	8,000人/年 (8,000人/年)	419,991千円

基本的方向（２）女性の活躍推進

No 2	OSAKA女性活躍推進事業				
	OSAKA女性活躍推進会議等と連携し、「ドーン de キラリ フェスティバル」等の啓発事業を実施するとともに、同フェスティバルにあわせ、2025年に開催される大阪・関西万博をPRするトークイベントを開催。また若年層を対象とした「ライフデザインの描き方セミナー」等を開催し、オール大阪でより一層、女性活躍の機運を盛り上げる。				
	活動指標・予算額	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】
R5年度実績見込 (当初目標値)					R5年度予算額
					男女いきいき・元気宣言登録事業者数
	セミナー等の参加者数	1,000人/年	665人/年 (1,000人/年)		

No 3	男女共同参画推進事業～女性基金活用事業～【企業版ふるさと納税活用事業】					
	だれもがいきいきと活躍できる男女共同参画社会の実現を図るため、男女共同参画の観点から相談事業を実施するほか、研修実施等を通じて男女共同参画施策を推進する。					
	活動指標・予算額	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
R5年度実績見込 (当初目標値)					R5年度予算額	
		ドーンセンター相談件数 (電話・面接相談・SNS相談)	3,900人/年	25,004千円	3,850人/年 (3,850人/年)	25,004千円

基本目標①若い世代の就職・結婚・出産・子育ての希望を実現する

基本的方向（3）結婚・妊娠・出産・子育て環境の充実

No 4 地域限定保育士試験事業						
保育士試験の受験者に多様な選択肢を提供し、保育士資格取得者を増やすため、後期試験において、実技試験による通常試験と保育実技講習会による地域限定試験を同時実施する。						
No 4	活動指標・予算額	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
					R5年度実績見込 (当初目標値)	R5年度予算額
					地域限定保育士試験 受験申請者数	1,200人/年

No 5 預かり保育助成事業						
私立幼稚園が保育の受け皿としての役割を強化し、女性の就業率向上や共働き世帯の増加等による保護者のニーズに対応した預かり保育を支援する。						
No 5	活動指標・予算額	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
					R5年度実績見込 (当初目標値)	R5年度予算額
					預かり保育を実施する幼稚園の割合	94%

基本目標②次代の「大阪」を担う人をつくる

基本的方向（1）次代を担う人づくり

英語教育推進事業（小・中・高）

大阪の子どもの英語学習の特質を踏まえた4技能5領域の資質・能力（聞く・読む・話す〔やり取り〕・話す〔発表〕・書く）を総合的に向上させる。
また、2025年の大阪・関西万博を契機とし、より一層グローバル化が見込まれる大阪において、児童・生徒に「生きた」英語力（特に話す力）を身につけさせるとともに、大阪から世界に羽ばたく高い英語力を備えたグローバル人材を育成する。

No 6	活動指標・予算額	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
					R5年度実績見込 (当初目標値)	R5年度予算額
		外国語教育研修会参加者満足度【小中】	97%	5,500千円	97% (97%)	8,157千円
		授業中の発話の半分以上を英語で行う教員の割合【高校】	70%	195,734千円	調査中 (65%)	285,689千円

グローバル人材育成事業【企業版ふるさと納税活用事業】

高校生等を対象に、海外の大学等への進学支援を行う「おおさかグローバル塾」や実践的な英語体験活動を行う「グローバル体験プログラム」を実施し、大阪の成長を担うグローバル人材を育成する。

No 7	活動指標・予算額	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
					R5年度実績見込 (当初目標値)	R5年度予算額
		おおさかグローバル塾の修了者数 上段：単年度修了者数 下段：【平成24年度からの累計修了者数】	50人 【799人】	50,360千円	50人 【749人】 (50人) 【749人】	48,360千円
		グローバル体験プログラムの参加人数 上段：単年度参加者数 下段：【平成24年度からの累計参加者数】	2,000人 【24,038人】		2,000人 【22,038人】 (2,000人) 【22,038人】	

基本目標②次代の「大阪」を担う人をつくる

基本的方向（1）次代を担う人づくり

【新規】木とふれあう木育推進事業【企業版ふるさと納税活用事業】						
子どもの成育環境を充実するとともに、子どもの頃から木材に接することで、その良さを体感し、森林の大切さについて理解を深めることを目的に、「木育」を推進する。その取組の1つとして、府内の幼稚園や保育所、認定こども園等の子育て施設において、木製の机や椅子等の導入経費を補助する。						
No 8	活動指標・予算額	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
					R5年度実績見込 (当初目標値)	R5年度予算額
		子育て施設への支援件数	8施設	4,000千円	10施設 (10施設)	5,000千円

基本的方向（2）子どもをめぐる課題への対応

いじめ虐待等対応支援体制構築事業						
学校におけるいじめ重大事態や児童虐待等の重篤な事案への迅速かつ適切な対応及びその未然防止に向けた市町村の支援体制を構築する。						
No 9	活動指標・予算額	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
					R5年度実績見込 (当初目標値)	R5年度予算額
		学校危機の緊急対応を支援する「緊急支援チーム」の市町村への派遣数	—	99,285千円	— (—)	146,672千円

児童虐待対策の拡充・強化						
広報啓発、関係機関との連携、緊急対応体制の整備等を行うことにより、増加・深刻化する児童虐待問題に適切に対応することを目的とする。						
No 10	活動指標・予算額	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
					R5年度実績見込 (当初目標値)	R5年度予算額
		オレンジリボン配布数	40,000個/年	4,217千円	40,000個/年 (40,000個/年)	4,217千円

基本目標②次代の「大阪」を担う人をつくる

基本的方向（2）子どもをめぐる課題への対応

子どもの貧困対策～子ども輝く未来基金事業～【企業版ふるさと納税活用事業】

子どもの貧困対策を社会全体ですすめるという機運を高めるとともに、府民の善意の受け皿とする「子ども輝く未来基金」を活用し、子どもたちに直接届く支援として、学習教材や体験活動への助成などの事業を実施する。

No 11	活動指標・予算額	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
					R5年度実績見込 (当初目標値)	R5年度予算額
		子ども食堂等の支援件数	150件/年	121,385千円	146件/年 (120件/年)	121,696千円
		ひとり親家庭の子どもへの支援件数	1,495件/人		1,493件/人 (1,485件/人)	

Ⅱ 人口減少・超高齢化社会でも持続可能な地域づくり

基本目標③ 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり

基本的方向（1）健康寿命の延伸

おおさか健活10推進プロジェクト事業

府民の健康寿命の延伸と健康格差の縮小に向け、ライフステージに応じた取組を継続・強化する。また、2025年大阪・関西万博も見据え、健活おおさか推進府民会議を中心に多様な主体との連携を推進するとともに、「人の生涯を経時的に捉えた健康づくり（ライフコースアプローチ）」も踏まえ、全事業において「健活10」の展開及び「アスマイル」の活用を図り、府民の主体的な健康づくりの実践を促す。

大阪・関西万博のインパクトを活かした健康づくりの気運醸成に向けた啓発や最新のヘルスケア体験等を通じた健康づくりへの意識向上及び実践力強化を図る。

No
12

活動指標・予算額	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
				R5年度実績見込 (当初目標値)	R5年度予算額
	ヘルスリテラシーの尺度【R6年度から】※	増加	128,192千円	3.45 (R6新規指標)	99,489千円
	府民の健康への関心度【R5年度まで】	—		100% (100%)	

※ヘルスリテラシーの尺度：健康に関する5つの質問に回答し、「全くそう思わない」を1、「強くそう思う」を5として、平均を得点としたもの。

健康づくり支援プラットフォーム整備等事業

府民の健康づくりに対する意識の向上と実践を促すことを目的に、ポイント還元を活用した健康づくり事業を実施するためのICT基盤（プラットフォーム）を整備し、府民向けサービスとして「おおさか健活マイレージ アスマイル」を展開し、府民への普及を図る。

No
13

活動指標・予算額	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
				R5年度実績見込 (当初目標値)	R5年度予算額
	健康アプリ「アスマイル」の参加人数	60万人	493,010千円	50万人 (50万人)	492,650千円

基本目標③ 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり

基本的方向（1）健康寿命の延伸

No 14	【新規】がん対策基金事業【企業版ふるさと納税活用事業】					
	がんの予防及び早期発見のため、「がん対策基金」を活用し、広く府民に対してがんに関する正しい知識やがん検診の重要性を普及することを目的とした取組を行い、がん検診の受診率向上をめざす。					
	活動指標・予算額	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
R5年度実績見込 (当初目標値)					R5年度予算額	
		がん検診受診率	50%	8,867千円	40.3% (-)	7,204千円

No 15	ギャンブル等依存症対策基金事業【企業版ふるさと納税活用事業】					
	ギャンブル等依存症の本人・家族等が、その抱える課題や困難に応じた最適な支援を受けられるよう、支援の担い手として活動する民間団体等と協働し、予防、相談、治療、回復支援を切れ目なく行う。(R6年度より事業開始)					
	活動指標・予算額	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
R5年度実績見込 (当初目標値)					R5年度予算額	
		府補助金等を利用する支援団体等の数	5団体	11,876千円	- (5団体)	-

No 16	【新規】次世代スマートヘルススタートアップ創出事業【デジタル田園都市国家構想交付金活用事業】								
	次世代スマートヘルス分野のスタートアップ支援に係る「エコシステム」を確立し、大阪のスタートアップ支援拠点としてのプレゼンスを万博を通じて世界に示すため、①当該分野のスタートアップの発掘、②同スタートアップの治療・予防アプリ等の社会実装支援、③万博開催の機を捉えたスタートアップの治療・予防アプリ等の社会実装機会の拡大支援に取り組む。								
	活動指標・予算額	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】				
R5年度実績見込 (当初目標値)					R5年度予算額				
					次世代スマートヘルス分野の支援対象スタートアップ発掘数	100社	60,307千円	-	-
					万博開催の機を捉えた次世代スマートヘルス分野のスタートアップの世界への発信数	60社 ※R7年度までに			
	次世代スマートヘルス分野のスタートアップの治療・予防アプリ等に係る府民の認知度	60% ※R7年度までに							
	次世代スマートヘルス分野のスタートアップの治療・予防アプリ等を導入する府内医療機関	10機関増 ※R7年度までに							

基本目標③ 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり

基本的方向（２）高齢者等がいきいきと暮らせるまちづくり

大阪ええまちプロジェクト 地域の多様な主体の支え合いによる地域包括ケアシステムを構築するため、府民の「地域の支え合い活動」参加への気運の醸成、先進的な活動を行っているNPO等の基盤強化等、総合的に市町村を支援する。						
No 17	活動指標・予算額	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
					R5年度実績見込 (当初目標値)	R5年度予算額
		地域団体への伴走型支援数	15件/年	23,789千円	13件/年 (15件/年)	23,789千円
		研修開催回数【R6年度から】	5回/年		5回/年 (R6新規指標)	
大交流会の開催【R6年度から】	1回/年	1回/年 (R6新規指標)				
生活支援体制整備推進支援事業 No16の事業を拡充し、自治体のSDGsの推進に資する取組として、新たな地域活動の担い手の創出や、市町村が住民主体型サービスの創出等を円滑に実施できるよう支援を実施する。						
No 18	活動指標・予算額	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
					R5年度実績見込 (当初目標値)	R5年度予算額
		支援した市町村数	4件/年	11,633千円	3件/年 (3件/年)	14,100千円
地域活動の創出支援件数【R6年度から】	5件/年	4件/年 (R6新規指標)				

基本目標③ 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり

基本的方向（2）高齢者等がいきいきと暮らせるまちづくり

スマートシニアライフ事業【企業版ふるさと納税活用事業】

「いのち輝く未来社会」の実現をめざし、住民の生活の質（QOL）の向上のために、特に高齢者の課題をICTの活用により解決する事業。デジタル端末等になじみのない方にも、LINE 公式アカウント「おおさか楽なび」を通じて、わかりやすく安心してご利用いただけるサービスをワンストップで提供する。

No
19

活動
指標
・
予算額

項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
			R5年度実績見込 (当初目標値)	R5年度予算額
スマートシニアライフアプリのアクセス数	330,000回	27,778千円	243,919回 (250,000回)	105,403千円
スマートシニアライフ事業によるサービス提供数【R5年度まで】	－ (R5年度まで)	－ (R5年度まで)	3本/年 (8本/年)	
スマートシニアライフ事業プラットフォームを通じて就労を希望する高齢者数【R5年度まで】	－ (R5年度まで)		399人 (250人)	
事業実施自治体(市町村)数【R5年度まで】	－ (R5年度まで)		43市町村 (7市町村)	

基本目標③ 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり

基本的方向（3）あらゆる人が活躍できる「全員参画社会」の実現

No 20	活動指標・予算額	外国人留学生就職支援事業【企業版ふるさと納税活用事業】				
		項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
					R5年度実績見込 (当初目標値)	R5年度予算額
		府内企業に対する理解が深まった外国人留学生の割合	90%	2,178千円	96% (90%)	2,186千円

No 21	活動指標・予算額	就職氷河期世代集中支援プロジェクト事業【地域就職氷河期世代支援加速化交付金活用事業】				
		項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
					R5年度実績見込 (当初目標値)	R5年度予算額
		本事業による新規就業者数 (就職氷河期世代)	1,300人/年	16,530千円	700人/年 (700人/年)	16,138千円
		新規就業者数のうち正規雇用 (就職氷河期世代)	400人/年		400人/年 (400人/年)	
		掘り起こしによるOSAKAしごとフィールドの新規登録者数 (就職氷河期世代)	2,800人/年		1,460人/年 (1,460人/年)	

基本目標③誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり

基本的方向（3）あらゆる人が活躍できる「全員参画社会」の実現

潜在求職者活躍支援プロジェクト事業【デジタル田園都市国家構想交付金活用事業】 女性、高齢者、障がい者を対象に潜在求職者の掘り起こしを行い、就業意欲の喚起から研修等によるスキルアップやマッチング、就職後の定着までの一貫した支援を行う。また、今後成長が見込まれる分野や人材不足が顕著な分野等を中心に、雇う側の企業に対し職場環境の改善支援を行い、雇用した後の定着までを見据えた取組を実施する。						
No 22	活動指標・予算額	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
					R5年度実績見込 (当初目標値)	R5年度予算額
		本事業による新規就業者数 (女性,高齢者,障がい者)	3,225人/年	63,500千円	2,320人/年 (2,320人/年)	61,473千円
		掘り起こしによるOSAKAしごとフィールドの新規登録者数(女性,高齢者,障がい者)	7,090人/年		5,840人/年 (5,840人/年)	
職場環境改善を受けた企業数	900社/年	900社/年 (900社/年)				
持続可能な大阪の成長を支えるダイバーシティ推進事業【デジタル田園都市国家構想交付金活用事業】 府内大学との連携を強化し、就職困難性の高い学生への支援に取り組むとともに、府内企業におけるダイバーシティへの理解を促進することで府内企業の人材確保を図り、多様な人材が府内で活躍できるよう支援する。						
No 23	活動指標・予算額	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
					R5年度実績見込 (当初目標値)	R5年度予算額
		参加企業のうち、ダイバーシティ経営に取り組む (予定含む) 企業	270社/年	29,486千円	250社/年 (250社/年)	29,486千円
		参加企業数	460社/年		460社/年 (460社/年)	
		参加企業が正社員採用した人数	330人/年		300人/年 (300人/年)	
参加した学生数	2,120人/年	2,120人/年 (2,120人/年)				

基本目標③誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり

基本的方向（3）あらゆる人が活躍できる「全員参画社会」の実現

障がい者雇用の促進【企業版ふるさと納税活用事業】

大阪府ハートフル条例に基づき、中小事業主等に対する雇用機会の拡大と職場定着を図るため、障がい者雇用に関する理解促進や、障がい者の職場定着に関する支援など、障がい者雇用に取り組む事業主の支援を行う。

No 24	活動 指標 ・ 予算 額	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
					R5年度実績見込 (当初目標値)	R5年度実績見込 (当初目標値)
		民間企業（大阪府に本社がある43.5人以上規模の企業：法定雇用率2.3%）に雇用されている障がい者の数	68,000人 ※R9.6.1時点	49,017千円	58,282人 (57,400人) ※R5.6.1時点	46,844千円

地域福祉振興助成金事業【企業版ふるさと納税活用事業】

府民の社会福祉活動の振興に資するため、府民が自主的に行う社会福祉活動や社会福祉活動への参加を促進するための基盤となる事業、また府が選定した事業に対し助成を行う。

No 25	活動 指標 ・ 予算 額	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
					R5年度実績見込 (当初目標値)	R5年度実績見込 (当初目標値)
		地域福祉振興助成金交付決定数	70件/年	140,000千円	52件/年 (60件/年)	140,000千円

基本目標④安全・安心な地域をつくる

基本的方向（１）安全・安心の確保

密集住宅市街地整備促進事業 地震時等に大きな被害が想定される密集市街地の防災性の向上や住環境の改善のため、事業主体による道路・公園などの地区公共施設の整備、老朽建築物の除却等を促進するための支援を行うとともに、密集市街地での延焼を遮断する効果を有する延焼遮断帯の整備を推進する。						
No 26	活動指標・予算額	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
					R5年度実績見込 (当初目標値)	R5年度予算額
		延焼遮断帯整備工事の着手延長 (府施行の都市計画道路：片側延長)	1,770m	2,262,615千円	1,295m (1,295m)	2,978,263千円

基本的方向（２）都市基盤の再構築

ファシリティマネジメントの推進 「大阪府ファシリティマネジメント基本方針」に基づき、府民が安全・安心に公共施設等を利用できるよう、劣化度調査等の結果を踏まえ、計画的に改修工事を実施する。 (劣化度調査：H28～30 約950棟実施)						
No 27	活動指標・予算額	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
					R5年度実績見込 (当初目標値)	R5年度予算額
		公共施設等（建物）の長寿命化対策工事の実施状況（延床面積1,000m ² 以上の建物）（累計）	532施設	—	429施設 (438施設)	—

基本的方向（３）環境にやさしい都市の実現

使い捨てプラスチックごみ対策推進事業 プラスチックごみ削減の一層の機運醸成を図り、府民の行動変容を促すため、マイ容器等の利用可能な店舗を検索できる「Osakaほかさんマップ（2021年10月開設）」による情報発信の強化を図るとともに、日常生活で実践できる3Rの取組をSNS募集・表彰する「ほかさんstyleコレクション（仮称）」を実施する。 また、オフィス街等でリユースカップやリユース食器等を利用できる場を新たに創出し、府民、企業等、あらゆる主体と連携・協働し、地域全体で使い捨てプラスチック削減の取組を進めるモデル事業を実施する。						
No 28	活動指標・予算額	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
					R5年度実績見込 (当初目標値)	R5年度予算額
		マップ掲載店舗数	900店舗	8,870千円	775店舗 (800店舗)	5,263千円

基本目標④安全・安心な地域をつくる

基本的方向（3）環境にやさしい都市の実現

No 29	「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」推進事業				
	<p>【おおさかプラスチック対策推進プラットフォームの運営】海洋プラスチックごみ問題の解決に向け、有識者、事業者団体、NPO、市町村など幅広い関係者によるプラットフォームとその分科会において、テーマごとに具体的な対策の検討、実証事業の実施、効果検証等を行うとともに、効果的な取組みを広く共有・発信する。</p> <p>【マイボトルの普及拡大・啓発】府、事業者、NPO、市町村等で構成する「おおさかマイボトルパートナーズ」の会議を開催し、マイボトルの利用啓発、マイボトルスポットの普及、効果的な情報発信について意見交換を行う。また、各主体が連携した取組を行う等、マイボトル利用をはじめとするプラスチックごみ削減の機運を醸成する。</p>				
	活動指標・予算額	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】 R5年度実績見込 (当初目標値) R5年度予算額
	モデル事業等の件数（累計）	7件（累計）	4,887千円	5件（累計） (6件（累計）)	4,887千円
No 30	温室効果ガス排出量の削減【企業版ふるさと納税活用事業】				
	<p>「大阪府気候変動対策の推進に関する条例」に基づき、事業者等による省エネ・再エネ・電動車の普及などの取組を推進するとともに、あらゆる主体の意識改革・行動喚起のための取組の実施等により、温室効果ガス排出量の削減を推進する。R6年度は、エネルギー多量使用事業者の目標削減量を1.5倍とするなど、対策を強化した改正条例に基づき、エネルギー多量使用事業者の脱炭素化の取組を促進するとともに、商工会議所や地域の金融機関等と連携して中小事業者へ働きかけを行い、脱炭素経営宣言を行った事業者には登録証を発行するほか、補助金案内など各種支援を実施する。</p>				
	活動指標・予算額	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】 R5年度実績見込 (当初目標値) R5年度予算額
	温室効果ガス排出量の2013年度比削減率	40%削減 (※2030年度)	—	24.3%削減※2021年度 (40%削減※2030年度)	—

基本目標④安全・安心な地域をつくる

基本的方向（3）環境にやさしい都市の実現

カーボンニュートラル技術開発・実証事業【企業版ふるさと納税活用事業】

2025年大阪・開催万博でのカーボンニュートラルに資する最先端技術の実証・実装をめざし、試作設計や開発・実証を行う事業者に対し、必要な経費の一部を補助する。

No 31	活動指標・予算額	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
					R5年度実績見込 (当初目標値)	R5年度予算額
					補助対象事業数	10件

万博を契機とした環境・エネルギー先進技術普及事業

環境・エネルギー先進技術について、R5年度に作成した普及啓発コンテンツを用い、府民・事業者向けセミナー等を通じ広く発信し、事業者による実用化・事業化につなげる。

No 32	活動指標・予算額	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
					R5年度実績見込 (当初目標値)	R5年度予算額
					セミナー開催回数【R6年度から】	2回
モデル事業の件数【R5年度まで】	— (R5年度まで)	— (R5年度まで)	1件 (2件)	25,611千円		
動画等の作成数【R5年度まで】	— (R5年度まで)		5件 (1件)			

Ⅲ 東西二極の一極としての社会経済構造の構築

基本目標⑤都市としての経済機能を強化する

基本的方向（1）産業の創出・振興

世界に伍するスタートアップ・エコシステム推進事業【デジタル田園都市国家構想交付金活用事業】

- ・大阪スタートアップ・エコシステム構築に向け、情報収集・分析およびコンソーシアムメンバーの活動を促進
- ・コンソーシアム全体の活動を進めるためのブランディング、情報発信
- ・大阪エコシステムの認知度向上や、海外のエコシステムとの連携事業のための国際的なピッチイベントを開催
- ・スタートアップの成長段階に応じたアクセラレーション・プログラムを実施 等

No 33	活動指標・予算額	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
					R5年度実績見込 (当初目標値)	R5年度予算額
		5億円以上調達スタートアップ件数	75社	70,261千円	91社 (65社)	70,261千円
		スタートアップビザ活用数	30者		25者 (21者)	

【新規】次世代スマートヘルススタートアップ創出事業（No16再掲）【デジタル田園都市国家構想交付金活用事業】

次世代スマートヘルス分野のスタートアップ支援に係る「エコシステム」を確立し、大阪のスタートアップ支援拠点としてのプレゼンスを万博を通じて世界に示すため、①当該分野のスタートアップの発掘、②同スタートアップの治療・予防アプリ等の社会実装支援、③万博開催の機を捉えたスタートアップの治療・予防アプリ等の社会実装機会の拡大支援に取り組む。

No 34	活動指標・予算額	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
					R5年度実績見込 (当初目標値)	R5年度予算額
		次世代スマートヘルス分野の支援対象スタートアップ発掘数	100社	60,307千円	— (R6新規事業)	— (R6新規事業)
		万博開催の機を捉えた次世代スマートヘルス分野のスタートアップの世界への発信数	60社 ※R7年度までに			
		次世代スマートヘルス分野のスタートアップの治療・予防アプリ等に係る府民の認知度	60% ※R7年度までに			
		次世代スマートヘルス分野のスタートアップの治療・予防アプリ等を導入する府内医療機関	10機関増 ※R7年度までに			

基本目標⑤都市としての経済機能を強化する

基本的方向（1）産業の創出・振興

空飛ぶクルマ都市型ビジネス創造都市推進事業【企業版ふるさと納税活用事業】

離着陸場整備やビジネス化準備等万博での運航実現に向けて取り組むとともに、万博後も見据え、サービス創出拠点形成に向けた民間事業者の取組を支援する。また、社会受容性のさらなる向上を図るとともに、関連事業者の参入促進に向けた事業を実施する。

No 35	活動指標・予算額	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
					R5年度実績見込 (当初目標値)	R5年度予算額
		補助事業採択件数	10件	392,779千円	9件 (8件)	155,388千円

国際金融都市推進事業

大阪の強みやポテンシャルを活かし、東京とは異なる個性・機能を持った国際金融都市を実現するため、ビジネス・生活環境の整備や、国内外の金融人材の誘致・育成等に向けた取組を推進する。

No 36	活動指標・予算額	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
					R5年度実績見込 (当初目標値)	R5年度予算額
		国際金融ワンストップサポートセンター大阪の相談件数	100社/年平均 ※R7年度までに	229,149千円	90社 (100社)	137,843千円
		金融系外国企業等誘致数【R6年度から】	30社 ※R7年度までに		10社※累計 (R6新規指標)	

大阪公立大学「イノベーション・アカデミー構想」推進事業【企業版ふるさと納税活用事業】

大阪公立大学において、都市課題の解決や産業競争力の強化に向けて、イノベーション創出を全学的に推進する環境の構築をめざし、産学官共創機能の整備を進めるとともに、脱炭素等の研究事業等に取り組む。

No 37	活動指標・予算額	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
					R5年度実績見込 (当初目標値)	R5年度予算額
		国の産学官連携事業への申請件数	3件	58,000千円	5 (3件)	119,000千円
		研究事業支援件数	2件		2 (2件)	

基本目標⑤都市としての経済機能を強化する

基本的方向（1）産業の創出・振興

No 38	外国人材受入促進・共生推進					
	官民連携による「地域協議会」を運営し、外国人材の受入環境整備や共生社会づくりに関する効果的な取組の推進を図る。					
	活動指標・予算額	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
R5年度実績見込 (当初目標値)					R5年度予算額	
		地域協議会の設置・運営、協議会の開催	1回	233千円	1回 (1回)	233千円
No 39	外国人材マッチングプラットフォーム事業					
	中小企業における外国人材の採用を含む、受入れに関する様々な課題に対応可能な支援機関等とのプラットフォームを設置し、企業の人材に関する課題やニーズに応じて支援機関等につなぎ、外国人材と中小企業の採用マッチングを支援する。					
	活動指標・予算額	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
					R5年度実績見込 (当初目標値)	R5年度予算額
中小企業の人材に関する課題解決につながった件数					100件	30,000千円
中小企業の人材に関する相談対応件数	300件	400件 (300件)				
事業参加企業数	500社	1,500社 (500社)				
No 40	外国人留学生等マッチング支援事業					
	日本で就職を希望する留学生等や海外人材を対象に、オンラインマッチングシステム等を活用した府内企業とのマッチングの機会を提供するとともに、府内企業に採用された留学生等の定着が進むよう必要なフォローアップを行う。					
	活動指標・予算額	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
R5年度実績見込 (当初目標値)					R5年度予算額	
		府内企業に就職する外国人材	200人	57,761千円	200人 (200人)	54,879千円

基本目標⑤都市としての経済機能を強化する

基本的方向（1）産業の創出・振興

労働相談センターパワーアップ事業

労働相談チャットボットシステムおよび多言語ホームページの円滑な運用と、外国人労働者への当該ツールの利用促進を行い、大阪で安心して働き続けることができるよう、労働トラブルの迅速な解決に向けた支援を実施する。

No
41

活動
指標
・
予算
額

項目

R6年度目標値
(R7年3月末時点)

R6年度予算額

【参考】

R5年度実績見込
(当初目標値)

R5年度予算額

外国人労働者向け啓発セミナーの開催

1回

12,908千円

1回
(2回)

12,917千円

中核人材雇用戦略デスク事業・同体制拡充事業【デジタル田園都市国家構想交付金活用事業】

府内中堅・中小企業の中核人材ニーズを掘り起こし、有料人材紹介、再就職支援などによる確保支援を行うとともに、東京圏の大企業人材を含めた、副業・兼業人材の活用促進を行い、府内企業の課題解決につなげる。また、副業・兼業を中心にデジタル人材のマッチング促進を行うことにより、デジタル社会の形成に寄与する。

No
42

活動
指標
・
予算
額

項目

R6年度目標値
(R7年3月末時点)

R6年度予算額

【参考】

R5年度実績見込
(当初目標値)

R5年度予算額

府内中堅・中小企業に対する副業・兼業を含めた人材マッチング件数

210件/年

59,528千円

200件/年
(200件/年)

59,231千円

(そのうち、大企業人材による副業・兼業の
マッチング件数)

65件/年

60件/年
(60件/年)

(副業・兼業のマッチング件数のうち、デジタル
技術やデータ活用についての知見を有する人材
のマッチング件数)

30件/年

15件/年
(15件/年)

府内中堅・中小企業の経営課題に関する相
談件数

500件/年

480件/年
(480件/年)

基本目標⑤都市としての経済機能を強化する

基本的方向（２）企業立地の促進

No 43	活動指標・予算額	企業立地に向けた取組				
		東京圏等への経済機能の流出に歯止めをかけ、大阪産業の高度化及び活性化を図るため、大阪府や国の立地優遇制度など大阪の投資魅力の発信・PRなどにより、府内での再投資及び国内外からの企業立地の促進に向けて取り組む。				
		項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
R5年度実績見込 (当初目標値)	R5年度予算額					
		企業立地促進補助金の交付決定件数	—	457,000千円	3件/年 (—)	372,000千円

基本的方向（３）活力ある農林水産業の実現

No 44	活動指標・予算額	大阪・関西万博に向けた大阪産(もん)の活用拡大支援事業				
		万博会場内（大阪ウィーク）において、大阪産(もん)の魅力を発信し、府内飲食店等へ誘引する仕掛けづくりを行うことで、府内周遊及び大阪産(もん)の活用を促進する。				
		項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
R5年度実績見込 (当初目標値)	R5年度予算額					
		大阪産(もん)ロゴマークの新規登録件数	60件/年	27,390千円	140件/年 (60件/年)	37,961千円

基本目標⑤都市としての経済機能を強化する

基本的方向（４）多様な担い手との協働

No 45	公民戦略連携デスクの設置・運営					
	公民戦略連携デスクの活動を通じて、企業・大学とwin-winの新たなパートナーシップを築く。また、これまで構築したネットワークを軸に、企業・大学等と連携した取組を推進。それぞれの強みを活かし社会課題の解決や地域活性化をめざす。					
	活動指標・予算額	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
R5年度実績見込 (当初目標値)					R5年度予算額	
		包括連携協定締結企業・大学等と部局との連携数	700件/年	—	700件/年 (700件/年)	—

基本的方向（５）インフラの充実・強化

No 46	新名神高速道路の整備促進					
	東西二極を結ぶ広域交通インフラとして重要な役割を果たす、新名神高速道路の早期全線整備に向けて、関係団体とともに取り組む。(事業主体：西日本高速道路㈱)					
	活動指標・予算額	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
R5年度実績見込 (当初目標値)					R5年度予算額	
		新名神高速道路（八幡京田辺～高槻）の供用（R9年度）	—	—	— (—)	—

基本目標⑥定住魅力・都市魅力を強化する

基本的方向（1）定住魅力の強化

スマートシティ戦略推進事業

“大阪モデル”のスマートシティ実現に向けて、公民連携プラットフォームである大阪スマートシティパートナーズフォーラムの取組を推進する。
また、公民の様々なデータの流通・連携を促進し、府民の利便性向上と、大阪の都市競争力の強化につなげていくため、スマートシティの実現に不可欠な社会インフラとしてR4年度に整備した大阪広域データ連携基盤（ORDEN）の運用と活用促進に取り組むとともに、府民に対する行政サービスの向上のため、個人に合わせた最適な情報発信やオンライン行政手続き等を提供する「マイド・ア・おおさか」を整備、運営する。

No
47

活動
指標
・
実績

項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
			R5年度実績見込 (当初目標値)	R5年度予算額
スマートシティ促進のためのワークショップ、セミナーの開催件数	5件	403,882千円	5件 (20件)	694,430千円
大阪スマートシティパートナーズフォーラム参加会員数	450社/団体		450社/団体 (450社/団体)	
大阪広域データ連携基盤を用いた効果的なサービス実証数【R6年度から】	3件		－ (R6新規指標)	
大阪広域データ連携基盤を用いた「ORDEN ID」の登録者数【R6年度から】	6,000人		－ (R6新規指標)	
AIオンデマンド交通先行モデルの実証プロジェクトの数【R5年度まで】	－ (R5年度まで)	－ (R5年度まで)	3件 (3件)	
広域データ連携基盤の構築及び運用【R5年度まで】	－ (R5年度まで)		運用 (運用)	

基本目標⑥ 定住魅力・都市魅力を強化する

基本的方向（２） 都市魅力の創出・発信

大阪ショーケース機能強化及びSDGsの実現に向けた観光推進・地域活性化事業【デジタル田園都市国家構想交付金活用事業】 持続可能な観光を実現していくため、広域での送客・誘客・消費を可能とするネットワークの構築や、超大型イベントにおけるショーケース機能、持続可能な観光を目標としたSDGsへの取組みを実施する。						
No 48	活動指標・実績	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
					R5年度実績見込 (当初目標値)	R5年度予算額
		本事業における消費額	637,000万円	24,225千円	428,300万円 (428,300万円)	24,225千円
		本事業における新規ビジネス件数	18件		15件 (15件)	
大阪関西万博に向けたSDGs対策における食の交流事業件数	150件	100件 (100件)				
魅力づくり推進関係事業【企業版ふるさと納税活用事業】 地域資源を発掘・再発見し国内外に発信する大阪ミュージアム事業や御堂筋イルミネーション事業、中之島周辺でのみどり豊かなまちづくりを通して、大阪の都市魅力を創出し、大阪への誘客につなげる。						
No 49	活動指標・実績	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
					R5年度実績見込 (当初目標値)	R5年度予算額
		自分の住んでいる地域に愛着を感じている府民割合	前年度以上	255,087千円	65.3% (前年度【61.7%】以上)	211,506千円
		御堂筋イルミネーション来場者数	前年度以上		584万人 (前年度【603万人】以上)	
中之島にぎわいの森づくりシンボルツリーを巡るナイトクルーズ乗船客数	1,000人	755人 (1,000人)				

基本目標⑥ 定住魅力・都市魅力を強化する

基本的方向（２） 都市魅力の創出・発信

【新規】大阪魅力発信事業【デジタル田園都市国家構想交付金活用事業】

万博を契機として大阪府内各地への来訪者を増やすため、府内市町村が連携して、オール大阪で府内地域産業等の魅力を効果的に発信することを目的としたイベントの企画調整を行うとともに、多言語に対応したプロモーションツールを用いて情報発信を行う。

No 50	活動指標・予算額	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
					R5年度実績見込 (当初目標値)	R5年度予算額
		地域における観光消費額（外国人旅行者）	14,000億円	149,166千円	11,500億円 (R6新規事業)	— (R6新規事業)
		地元産業のPR数	10回		— (R6新規事業)	
		支援市町村数	20市町村		— (R6新規事業)	
		来阪者満足度（外国人旅行者）	90%		90% (R6新規事業)	

スーパーシティ構想の推進

「うめきた2期地区」と「夢洲地区」において、最先端技術を活用し、規制改革を伴う複数分野のスマート化の取組を実装し、未来の暮らしを先行実現する「まるごと未来都市＝スーパーシティ」の形成に向けた協議・調整等を行う。

No 51	活動指標・予算額	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
					R5年度実績見込 (当初目標値)	R5年度予算額
		区域計画の認定項目数【R6年度から】	1件/年	4,136千円	3件/年 (R6新規指標)	4,136千円
		スーパーシティ基本構想の策定【R5年度まで】	— (R5年度まで)		基本構想の策定 R5.10 (基本構想の策定)	

基本目標⑥ 定住魅力・都市魅力を強化する

基本的方向（２） 都市魅力の創出・発信

広域サイクルルート連携事業【企業版ふるさと納税活用事業】

2025年大阪・関西万博を契機に、内外からの多くの来阪者が快適に府内各地の周遊できる環境を整備するため、近隣府県や市町村との広域連携による自転車を活用したまちづくりを推進する。

No 52	活動指標・予算額	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
					R5年度実績見込 (当初目標値)	R5年度予算額
		連携地点における自転車通行量	3,210台/年	5,184千円	調査中 (3,210台/年)	4,784千円

公園都市緑化振興事業【企業版ふるさと納税活用事業】

企業や府民等からの寄附を活用し、みどりの風を感じるネットワークを形成するために民有地緑化を支援するとともに、道路等の公共用地において樹木の植栽・更新等を実施し、都市緑化を推進する。

No 53	活動指標・予算額	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
					R5年度実績見込 (当初目標値)	R5年度予算額
		緑化活動支援の件数	3件/年	2,300千円	2件/年 (3件/年)	2,300千円
		寄附樹木の植栽本数	50本/年	1,500千円	20本/年 (50本/年)	1,500千円

大阪府生涯スポーツ振興事業【企業版ふるさと納税活用事業】

幅広く府民に対しスポーツを紹介し実践する場を提供することにより、スポーツへの参加意欲を喚起するとともに、スポーツ情報サイトやSNSを活用したスポーツ情報を幅広く発信することで、スポーツツーリズムの推進につなげていく。

No 54	活動指標・予算額	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
					R5年度実績見込 (当初目標値)	R5年度予算額
		スポーツ・レクリエーション事業参加者数（オンライン含む）	37,000名	98,317千円	26,000名 (37,000名)	89,872千円
		SPORTS OSAKAセッション数（月平均）	6,000件		8,768件 (3,000件)	

基本目標⑥ 定住魅力・都市魅力を強化する

基本的方向（２） 都市魅力の創出・発信

大阪府文化振興事業【企業版ふるさと納税活用事業】						
文化芸術分野で活躍する者を対象にした顕彰事業を実施するとともに、府民に優れた芸術文化の鑑賞機会を提供する有意義な事業や次世代の育成に資する活動等に対する補助を通して、大阪における文化・芸術の振興を図る。						
No 55	活動指標・予算額	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
					R5年度実績見込 (当初目標値)	R5年度予算額
		大阪の文化振興の機運を醸成するための顕彰事業の実施	2賞/年	17,805千円	2賞/年 (2賞/年)	17,020千円
		採択事業における観客満足度 (芸術文化振興補助金)	80%		95.8% (80%)	
採択事業における観客満足度 (輝け！子どもパフォーマー事業補助金)	80%	99.3% (80%)				
万博記念公園駅前周辺地区活性化事業						
大阪モノレール万博記念公園駅前周辺地区において、公募で選ばれた民間事業者とともに「大規模アリーナを中核とした大阪・関西を代表する新たなスポーツ・文化の拠点づくり」を推進し、世界最先端の機能を有するアリーナと周辺施設が相乗効果を発揮し、地域をはじめ、大阪・関西、ひいては西日本の成長、発展の起爆剤となるよう取り組む。						
No 56	活動指標・予算額	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
					R5年度実績見込 (当初目標値)	R5年度予算額
環境アセスメント完了後アリーナ等工事着工【R5年度以降】 第Ⅰ期（アリーナ等）開業【R11年度】	既存施設の機能移設 に向けた整備	1,756,959千円	環境アセスメント開始 (環境アセスメント開始)	469,935千円		